

産業廃棄物処理計画書

2021年6月28日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県四日市市山田町800番

氏名 太陽化学株式会社

代表取締役社長 山崎 長宏

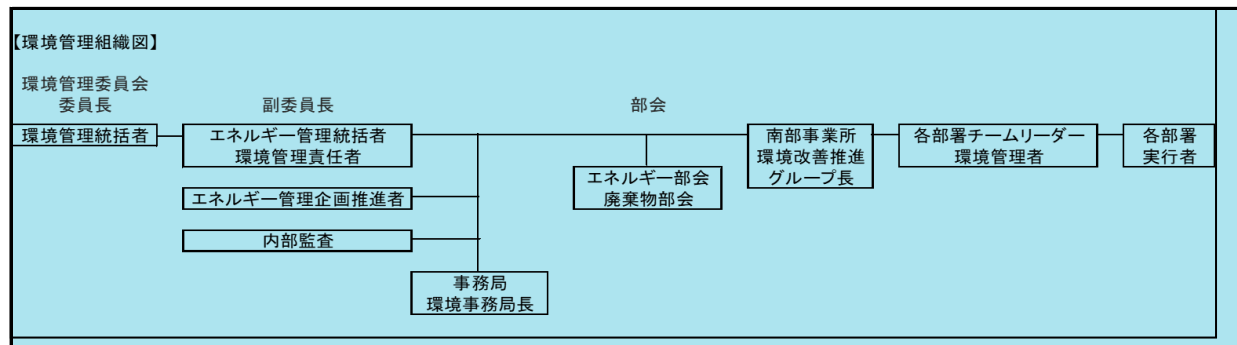
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 059-340-0820

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	太陽化学株式会社 南部事業所
事業場の所在地	三重県四日市市山田町800番
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E09 製造業/ 食料品製造業
② 事業の規模	10572291095円
③ 従業員数	302
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・排水処理から発生(汚泥)→A社(自己中間処理)脱水→(中間処理委託) 醗酵→堆肥化 ・排水処理から発生(汚泥)→B社(自己中間処理)脱水→(中間処理委託) 混練→セメント原料 ・製造工程から発生(汚泥)→A社(中間処理委託)焼却→焙焼→土木資材 ・製造工程から発生(廃油)→A社(中間処理委託)混合調整→補助燃料化 ・製造工程から発生(廃油)→B社(中間処理委託)混合調整→補助燃料化 ・製造工程から発生(廃酸)→A社(中間処理委託)混練→堆肥化 ・製造工程から発生(廃酸)→B社(中間処理委託)中和・凝集→固形分(85%セメント原料・15%埋立) ・製造工程から発生(廃プラスチック)→A社(中間処理委託)分別・破碎・圧縮梱包→プラスチック燃料 ・製造工程から発生(廃プラスチック)→B社(中間処理委託)破碎→選別→焼却→焙焼→土木資材 ・製造工程から発生(廃プラスチック)→C社(中間処理委託)RPF化(固形燃料化) ・各部署から発生(ガラス・陶磁器屑)→(中間処理委)破碎→埋立 ・各部署から発生(木屑)→(中間処理委託)チップ化→石油代替燃料 ・各部署から発生(水銀使用製品)→(中間処理委)破碎→選別→焙焼→ガラス原料等 ・製造工程から発生(動植物性残渣)→B社(中間処理委託)コンポスト化(堆肥化) ・製造工程から発生(動植物性残渣)→C社(中間処理委託)コンポスト化(堆肥化)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度実績】	
産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
排出量	
①現状	(これまでに実施した取組) ・有機汚泥15,891トン脱水処理して1,059トンに減量し、堆肥化した。 ・廃パーム油 734トン飼料として売却した。 ・廃食用油 33トン飼料として売却した。 ・廃てんぷら油 1トンバイオ燃料として売却した。 ・廃プラスチック26トン有価物として売却した。 ・アゲくず 158トン飼料として売却した。 ・たまごくず15トン飼料として売却した。
【目標】	
産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
排出量	
②計画	(今後実施する予定の取組) ・有機汚泥15,732トン脱水処理して1,048トンに減量し、堆肥化する。 ・廃てんぷら油 1トンバイオ燃料として売却する。 ・廃プラスチック26トン有価物として売却する。 ・たまごくず15トン飼料として売却する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別している産業廃棄物……汚泥・廃油・廃酸・廃プラスチック ・ガラスくず、陶磁器くず・木くず・動植物性残渣・水銀使用製品 ・分別に関する取り組み……自社で作成したゴミ分別一覧表を基に廃棄物の分別を実施し、また、廃棄物の中から有価物に転換出来る物を分別している。 ・廃棄物の分別に関する勉強会を11月に実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後分別する予定の産業廃棄物……昨年と同様 ・分別に関する取り組み……昨年と同様に廃棄物及び有価物の分別を強化する。 ・廃棄物の分別に関する勉強会を年1回実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) 排水汚泥15,891トン脱水処理して1,059トンに減量した。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 排水汚泥 15,732トン脱水処理して1,048トンに減量する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし	




産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組) ・廃棄物委託先の企業調査を年度初めに実施した。 ・廃棄物処分委託先への年1回の許可保有状況、能力等の確認を実施した。 ・必要に応じて廃棄物処分委託先担当者と廃棄物に付いての相談や話し合いを実施した。		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組)	
	<ul style="list-style-type: none">・廃棄物委託先の企業調査を年度初めに実施する。・廃棄物処分委託先への年1回の許可保有状況、能力等の確認を実施する。・必要に応じて廃棄物処分委託先担当者と廃棄物に付いての相談や話し合いを実施する。	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

 } 記入願います
 }
 } 記入不要です

廃棄物の種類 項目 現状/計画			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	合計量	
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	13号廃棄物	建設混合廃棄物	(t)	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績		16069.7	65.7	215.1		93.1			1.1					2.4		518.3						16965.4	
		今年度目標		15909	65	213		92			1					2		513							16795
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績		14832																					14832
		今年度目標		14683																					14683
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績		1237.7	65.7	215.1		93.1			1.1					2.4		518.3						2133.4	
		今年度目標		1225	65	213		92			1				2		513							2111	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績		1211.5		32.2		39.3			1.1					2.4		387.5						1674	
		今年度目標		1199		31		38			1				2		383							1654	
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績		1098.9	65.7	215.1		93.1							2.4		518.3							1993.5	
		今年度目標		1087	65	213		92							2		513							1972	
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																							0
		今年度目標																							0
	⑩のうち認定熱回収以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績		138.8																					138.8
		今年度目標		137																					137

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。
(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。